

いばらき柔道整復師会ニュース



令和7年

3/31(月)

Vol.78

特別公開講座

「成長期の怪我予防とサッカートレーニング」 ～水戸ホーリーホックのアカデミーコーチ&トレーナーが直接指導～



令和7年1月25日(土)午後2時より、学校法人常磐大学 智学館中等教育学校 体育館において、本会主催、茨城県教育委員会、公益財団法人茨城県スポーツ協会後援による「成長期の怪我予防とサッカートレーニングに関する特別公開講座」を開催しました。

講師に、プロサッカーチーム水戸ホーリーホックのアカデミーに在籍するフィジカルコーチの遠藤祐樹先生をお迎えして、サッカーをととして、子どもたちが明るく逞しく健やかに成長するため怪我の予防とトレーニング法などを習得し、基本技術を身に付けることを目的に、小学4・5・6年生の参加者と保護者を合わせて60人以上の方々が熱心に受講されました。

講演を前に、主催者を代表して箱守会長は「今回は、幅広い年齢層の方々に人気のある「サッカー」をテーマにした特別公開講座を企画させていただきました。私共も、初めての企画であり、サッカーJリーグに所属する「水戸ホーリーホック」の皆様方にご協力をいただき、本日を迎えることができました。そして、水戸ホーリーホックのアカデミーのコーチの方々に、「成長期における怪我予防とトレーニング方法など」について、参加いただいている皆様に合わせて、分かりやすく解説しながら「講義と実技」を交えた指導をしていただくことになっております。本日の特別公開講座が、明日からのサッカーの練習に活用できる有意義な講座となりますことをご期待申し上げます。」とあいさつしました。

続いて講演では、成長期に起こりやすいサッカー特有の怪我について、また、その怪我を予防するための基本的なトレーニング方法、そのほか栄養や休養の重要性などについて、パワーポイントを用いて画像により丁寧に説明しながら広いスペースを使って、子どもたちにも分かりやすいよう、実技も交えて進められました。

質疑応答では、保護者の方々から熱心な質問が飛び交い、「子どもたちにとって怪我をしにくい体づくりをするにはどうしたら良いか」「怪我をしてしまった場合のリハビリはどうしたら良いか」など、保護者目線でのサポートについても熱心に耳を傾けていました。

参加してくれた子どもたちが、この講座を通じて更に高みを目指し、サッカーに取り組んでいただけたらうれしい限りです。

(広報副部長 柴寄 将志)

臨時総会開催

令和6年度臨時総会が、3月14日(金)午後8時より、茨城県柔道整復師会館にて開催されました。

箱守会長のあいさつでは、本年度の事業が概ね順調に進む一方で、医療費適正化対策や物価高騰などの影響により、施術所の経営が一段と厳しくなっている現状を指摘された。

また、オンライン電子請求の導入や明細書発行義務化といったデジタル化の進展に伴い、業界として対応が求められていることが強調され、本会においては、療養費請求のデータ化率やオンライン資格確認の設置率が全国的にも高い普及率となっており、先進的な取り組みが進められていることが報告された。

続いて、慎重な審議のもと議事が進行し、上程された3議案はすべて満場一致で可決されました。

総会員数 328名 出席会員数 23名
(書面出席 160名 委任出席 95名)

議 題

- (1) 令和7年度 事業計画について
- (2) 令和7年度 会費の納入方法について
- (3) 令和7年度 正味財産増減予算書について



あいさつをする箱守会長

厚生労働大臣表彰

去る令和6年12月15日、東京都港区の「明治柳 明 相談役、鮎川 秋雄 参与、鈴木 正嘉 前理

一ツ柳 明 相談役

〈労災補償行政関係功労者表彰〉



業務歴

昭和47年6月26日 柔道整復師免許取得
昭和49年2月1日 取手市「一ツ柳接骨院」開設
現在まで51年の永きにわたり院長として施術に努めている。

役員歴

本会理事兼広報部副部長・本会理事・本会理事兼学術部副部長・本会理事兼事業部副部長・本会理事兼総務部副部長・本会副会長兼事業部部長・本会副会長・日本柔道整復師会代議員・関東ブロック会理事

公職歴

茨城県柔道整復療養費審査委員会委員(協会けんぽ)

現在 本会相談役として、後進の指導や助言等を行い、業界の発展に寄与している。

受賞の感想等

この度、日本柔道整復師会70周年記念式典において「厚生労働大臣表彰(労災補償行政関係功労者)」を受賞いたしました。

本会の箱守会長、役員の皆様のご推薦に感謝申し上げます。

10年前60周年の折には、柔道整復業務功労者として大臣表彰を受け、今回で2度目の受賞となりました。

身に余る光栄でございます。

昨今の柔整師は、長きに渡り飽和状態が続き大変厳しい状況ですが、基本であります整復・固定・後療法の手技的療法を継続してまいります。

思い返せば開業以来51年になりますが、体の続く限り柔整師を全うしたいと思いますので、今後ともどうかよろしくお願いいたします。

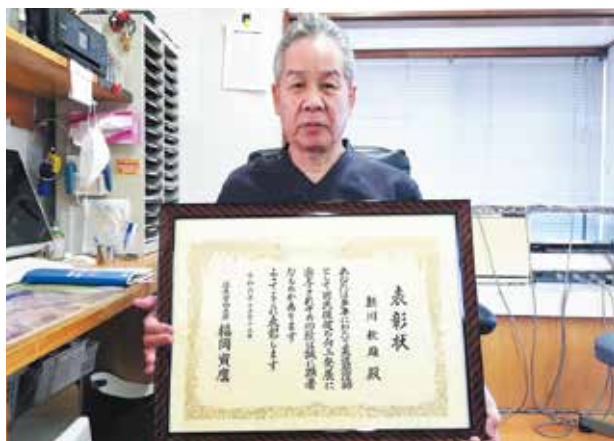
茨城県柔道整復師会の益々の発展と会員諸兄のご健康ご活躍をご祈念申し上げます。

一ツ柳 明 相談役・鮎川 秋雄 参与・鈴木 正嘉 前理事 が受賞

記念館」にて開催された、「日本柔道整復師会社団法人設立 70 周年記念式典」において、本会 一ツ柳の3名が、「厚生労働大臣表彰」を受賞されました。なお、功績・受賞の感想等は、次のとおりです。

鮎川 秋雄 参与

〈柔道整復業務功労者表彰〉



業務歴

昭和 50 年 4 月 28 日 柔道整復師免許取得
昭和 54 年 4 月 2 日 筑波郡筑波町(現つくば市)
「鮎川整骨院」開設
現在まで 45 年の永きにわたり院長として施
術に努めている。

役員歴

本会理事・本会理事兼経理部副部長・本会理
事兼事業部副部長・理事兼経理部部长

現在 本会参与として、後進の指導や助言等
を行い、業界の発展に寄与している。

受賞の感想等

この度、日本柔道整復師会社団法人設立
70 周年記念式典におきまして「厚生労働大
臣表彰」及び、茨城県柔道整復師会よりお祝
いを頂戴いたしまして誠にありがとうございます。

振り返れば昭和 54 年 4 月に開業以来、市
川名誉会長・谷中参与・竹藤前会長・中村元
理事等の学術研究会「野中会」に席を置かせ
てもらってからの、あっという間の 45 年間
という感じです。

支えてくださった多くの先輩や同士の先
生、また、地域の方々に心から感謝申し上げ
ます。

今後とも、初心を忘れずに一日でも長く
日々の施術を遂行する所存でございます。

鈴木 正嘉 前理事

〈労災補償行政関係功労者表彰〉



業務歴

昭和 52 年 3 月 30 日 柔道整復師免許取得
昭和 59 年 4 月 1 日 古河市「鈴木接骨院」継承
現在まで 40 年の永きにわたり院長として施
術に努めている。

役員歴

本会理事・本会理事兼総務部副部長・本会理
事兼学術部副部長・本会理事兼学術部部长・
本会理事兼広報部部长・本会理事兼広報部副
部長

受賞の感想等

この度は、日本柔道整復師会社団法人設立
70 周年記念式典において「厚生労働大臣表
彰」をいただき、とても栄誉のあることと感
動しております。

私がこのように喜びを得ることができまし
たのは、茨城県柔道整復師会のご尽力のお陰
と、良き先輩方のご指導、良き仲間にも恵ま
れたお陰と心から感謝申し上げます。

最後に、茨城県柔道整復師会の今後益々の
発展と会員の皆様のご活躍とご健康をご祈念
申し上げます。

令和6年度 保険取り扱い等講習会

令和6年9月15日(日)午後2時より、クラフトシビックホール土浦において、本会主催、茨城県後援による「令和6年度保険取り扱い等講習会」が開催されました。

当日は、本会会員及び茨城県内の柔道整復師 328名が参加されました。

講習会は、吉原貴範副会長の開会の言葉で始まり、箱守志農夫会長が主催者を代表して、「オンライン請求の実施に向けた環境整備などが緊急の課題」と、業界の置かれている現状と課題などを述べられ、「本来の目的である地域に根差した良質な保険、医療、介護など、最新の治療を患者さんに提供することが、地域住民の方々の健康維持増進、更には、我々の信用に繋がるものと確信しております。」と、力強くあいさつをされました。

そして講演に入り、講師の茨城県保健医療部 保健政策課 国民健康保険室の主事 笠原彩花氏より「国保療養費の現状と患者調査について」と題し、全国・茨城県の医療費の推移、支給申請書の内容点検及び患者調査の状況について詳細な説明がなされました。

続いて、本会の谷中照男保険指導監より、「正しい保険請求について」事例を交えた多部位施術・長期・頻回などの毎月の適切な請求例、また、返戻理由の内容と留意点等についてのご指導をいただきました。

更に、後藤健雄保険部長より、「令和6年度料金改正及び留意事項について」初検料、電療料の引き上げ、明細書発行義務化対象の拡大、長期・頻回受療に係る療養費の適正化、患者ごとの償還払いに変更できる事例の追加などの詳細な説明がありました。

また、佐間田仁保険部副部長からは、「適切な施術録等の作成について」施術録、日計表の各々の正確な記入例や事例など、詳しく解説いただきました。

最後に、藁谷和彦副会長の閉会の言葉により講習会は終了となりました。

箱守会長の挨拶でもありましたが、今後、私達の業界もDX化が進んで行くことでしょう。

本会ではオンライン資格確認設置登録者が95%に達しました。

どのような状況になっても柔軟に対応し、適切な保険の取り扱いを心掛け、「地域共生社会」の実現を目指していくことが重要であると感じ、会場を後にしました。

(広報委員 長谷川 秀樹)



公益社団法人日本柔道整復師会 共催による 会員研修「匠の技」 技術講習会を開催

令和6年10月20日(日)午後1時より、本会会館において、公益社団法人日本柔道整復師会(以下「日整」という。)との共催による全国統一方式での会員研修「匠の技 技術講習会」が開催されました。

この講習会は、日整が『柔道整復術公認100年記念』の一環として、日本伝統医療継承事業による骨折、脱臼の徒手整復・固定、後療及び超音波観察装置の実技研修を各地域で行い、確かな知識と技術を継承し後世に伝承できる柔道整復師の育成を目指すことを目的に開催されるものです。

当日は、令和3年度から数十回にわたる指導者を養成する講習会を受講してきた、本会の新井俊行学術部長、根本隆司学術副部長、県南支部の福田紘一会員が講師を務めました。

まずはじめに、本会の箱守志農夫会長からあいさつがあり「日頃の患者様の施術業務を再確認していただき、スキルアップに繋げてください。」と述べられました。

続いて講習会では、会員研修重点部位の橈骨遠位端部骨折(コーレス骨折)に対する超音波観察装置の観察法・固定具の作成・整復・固定法など実技を交えながらのわかりやすい講義で改めて学ぶことができました。

参加された先生方も熱心に受講し、技術を習得されていました。

その中でも、超音波観察装置は、近年導入されている先生方も増え、骨折の有無に限らず、肉離れ、関節の腫れなどの軟部組織の観察にも役立ち、また、より一層の技術向上が期待できることから皆さん興味深く学ばれていました。

参加された先生方は、経験や年齢層も幅広く、日々の施術体験等を含めたディスカッションができ、新鮮で有意義な一日となりました。

(広報委員 朝倉 博幸)



文部科学大臣杯争奪 第33回日整全国少年柔道大会 第14回日整全国少年柔道「形」競技会 第5回全国柔道整復師高段者大会

第33回日整全国少年柔道大会茨城県代表監督 眞中 進

令和6年11月17日(日) 文部科学大臣杯争奪 第33回日整全国少年柔道大会・第14回日整全国少年柔道「形」競技会・第5回全国柔道整復師高段者大会が東京都文京区の柔道の聖地、講道館大道場において開催されました。

観客席には、この日のために全国各地から応援に駆けつけた保護者などで満員となり、その視線の先には、これまで成長を見守り続けてきた逞しい子供たちの姿がありました。

開会式では、今大会の審判長で講道館指導員の鮫島元成先生のあいさつがあり、「皆さん、カッコイイ柔道人(家)になってください。カッコイイとは、礼儀正しくきちんとあいさつができ、試合に勝っても負けても相手を尊敬したたえ合える気持ちを持つことです。」と話されていました。柔道に限らず、子供が成長する過程においても大変貴重なお言葉と感じました。

シード枠により、2回戦から出場した本県代表チームの対戦相手は、広島県チームで、1回戦を撃破し波に乗っていました。試合会場にも緊張感溢れる雰囲気にも慣れており、選手たちの表情からは余裕さえ感じられました。

本県代表チームは、この全国大会前にショッキングな出来事がありました。代表選手のうち2名が稽古中の怪我で今大会の出場が叶わなかったのです。一生懸命練習に励んでいる中で発生した出来事なので、本人たちもさぞかし悔しい思いであったろうと思います。

試合は、副将まで0-1とリードを許す状態となり、この緊迫した状態で大将の岡野君が登場しました。勝利を掴むにはまず一本で勝利し、1-1として延長戦にもっていき、その試合も勝利するという2連勝が必須となりました。

相手広島県チームの作戦は、大将引き分けが常道です。岡野君は、期待に応えようと猛反撃して勝利に導こうとしましたが、その焦りが技を空転させてしまい、本来もっている切れのある技が決まらず、無情にもブザーが鳴り響き引き分けで試合終了となり、健闘及ばず0-1で敗退となってしまいました。残念な結果ではありましたが、大会直前のメンバー交代にも関わらず、チーム一丸となって試合に臨めたことが何より素晴らしく感じられました。

優勝は宮崎県、準優勝は大阪府、第3位は長崎県と広島県でした。

続いて、午後から開催された少年柔道「形」競技会では、47チームが4ブロックに分かれて予選が行われました。

本県チームは残念ながら決勝に進出することができませんでした。

優勝は兵庫県で、5連覇を果たしました。

また、同日開催された、全国柔道整復師高段者大会には、5段の部 上野良知会員、6段の部 綿引徹会員・青木竜也会員が出場し、熱戦が繰り広げられました。

少年柔道大会代表選手

先鋒 大野 未悠(高萩市柔道スポーツ少年団)

次鋒 青木 琥太郎(下館武道館)

中堅 川田 麗凰(神栖柔神會)

副将 秋田 隆之介(石下柔道部)

大将 岡野 真昇(無心塾飯島道場)

少年柔道形競技会代表選手

取: 秋田 修哉

(石下柔道部)

全国柔道整復師高段者大会出場選手

上野良知・綿引徹・青木竜也



第9回水戸黄門漫遊マラソン ～ランナーケアを行う～

令和6年10月27日(日)国道50号水戸市南町をスタートし水戸市内を疾走、三の丸庁舎をゴールとする第9回水戸黄門漫遊マラソンが開催されました。

当日は絶好の秋晴れのもと、全国から1万2千人を超えるランナーが参加しました。

本会からは、ランナーケアとして、19.4km地点に荘司智也・柴崙将志・藤田智之・富田匠・塚本孝一の5名、29.3km地点に藤田博美・杉本秋生・中川文夫・櫻井雅明・高田敬の5名、33.2km地点に新井俊行・後藤洋彰・木村栄作・宮部和浩・長谷川秀樹の5名、ゴール地点に岩本勝久・早川好機・中川翔太の3名の計18名の会員が参加しました。

私がランナーケアを行った33.2km地点では、コールドスプレーによるアイシングを希望するランナーや足が攣ってしまうランナーが多く見られました。

処置が必要なランナーには、必要に応じて筋肉・関節外傷の応急手当、アイシング、ストレッチ、テーピング等を手早く行い、できるだけ早いリスタートが切れるように心掛けました。

併設されている救護所の医師・看護師の方々との連携も、スムーズに取れていたと思います。

ほかの3地点のランナーケアでも、大勢のランナーに処置を行い、全員日頃の施術スキルを大いに発揮することができたと思います。

参加された会員の皆様ありがとうございました。

(広報委員 長谷川 秀樹)



イオンモール水戸内原1駐車場
(19.4Km地点)



水戸市土木補修事務所
(29.3Km地点)



偕楽園別邸付近
(33.2Km地点)



ゴール
(42.195Km地点)

第44回 つくばマラソン大会 ～ボランティア活動～

令和6年11月24日(日)第6救護所において、医師、看護師、消防・救急、トレーナー、我々柔道整復師での編成で隣接する二つのテントでランナーの救護活動にあたりました。

昨年のみぞれの中でのレースではなく、快晴で気温も上がりすぎない良好なコンディションで行われた大会に、鮎川秋雄、永田喜久雄、齋藤正仁、内館秋男、倉持孝治、湯田隆幸、桜井亮の7名でフルマラソンに出場した約10,000人のランナーに救護活動を提供すべく、最高のチームワークと笑いで全力を尽くしました。

24km地点での救護でしたので、まだまだ先を目指してしっかりと足取りで走り抜けるランナーの皆さんが多く見受けられました。

医師の判断と指導で、看護師、トレーナー、柔道整復師のそれぞれに振り分けが行われての活動となり、全体で協力して速やかに適切な対応ができたと思います。

その中で、我々が受け持った筋肉の疲労からの痛み、関節の痛みや不調などを訴えた、昨年より多くのランナーへの施術に最善を尽くすことができたと思います。

来年も、ランナーの方々に少しでも走る手助けが提供できて、会員の先生方と筋力の疲労からくる痛み、捻挫、関節痛等への施術方法の話しなど、貴重な体験と交流をさせていただきたいと思っています。

(広報委員 桜井 亮)



救護員の集合写真

第72回勝田全国マラソン ～救護活動を行う～

令和7年1月26日(日)ひたちなか市と東海村を舞台に「第72回勝田全国マラソン」が開催されました。今回は、ひたちなか市誕生30周年を記念する特別な大会となりました。

当日は晴天に恵まれ、全国から多くのランナーが参加しました。

フルマラソンの部は、午前10時30分にスタートし、10kmの部もそれぞれの時間に開始されました。

本会からは、23.5km地点(海原医院)に、藤田博美、藁谷和彦、嶋崎英恭、中川文夫、中川翔太の5名、31km地点(西原運動公園)に新井俊行、岩本勝久、早川好機、野澤行宏、長谷川秀樹の5名の計10名の会員が救護活動に参加しました。

私が担当した31km地点では、北風が強かったこともあり、低体温症の疑いがあるランナーや下肢、特に膝や腸脛靭帯の痛みを訴えるランナーが多かったです。

処置が必要なランナーには、必要に応じて筋肉・関節外傷の応急手当、アイシング、ストレッチ、テーピング等を手早く行い、できるだけ早いリスタートが切れるように心掛けました。

大勢のランナーに処置を行い、全員が日頃の施術スキルを大いに発揮することができたと思います。

参加された会員の皆様、お疲れ様でした。

(広報委員 長谷川 秀樹)



海原医院(23.5km地点)



西原運動公園(31km地点)

第1回関東柔整ゴルフ同好会 ゴルフ大会

県南支部 羽田 直裕

令和6年11月24日(日) 浅見ゴルフ倶楽部において、『第1回関東柔整ゴルフ同好会 ゴルフ大会』が開催されました。

このゴルフ大会は、日本柔道整復師会関東ブロック会の各県代表者(世話人)による度重なる打合せなどを経て、これまでの関東ブロック会ゴルフ大会から大幅に見直し、今年度から同ブロック会の同好会的な位置付けとし、この趣旨に賛同する方が参加して行われました。

同好会を発足し、初の大会を我が茨城県で開催することとなり、代表世話人となった山口康総務部長にゴルフ委員も加わり準備を進める中、協同組合藤田利光理事長にもお骨折りいただき、他県の諸先生方をお迎えすることができました。

当日は、穏やかなゴルフ日和となり、ゴルフ愛好者の先生方38名の参加により親睦を深めながら、『気軽な大会』とは言えスコアを気にしつつ、とても有意義な1日となりました。

浅見ゴルフ倶楽部は、グリーンが速くアンジュレーションが有り、プレーヤー泣かせのグリーンが名物のコースです。初冬とは思えない気候に、カルガモ親子がグリーンを横切るハプニング。横断し終えるのを待ちながら、心温まり癒されたのも束の間、いつも通りの力み過ぎてのミスショットで現実に引き戻されました。

表彰式は、仕事とゴルフに妥協のない箱守会長のあいさつに始まり、個人的に会長賞まで用意していただきました。その後、順位の発表を行い、第1回関東柔整ゴルフ同好会ゴルフ大会の栄えある優勝者は、我が県の湯本光晴先生、第2位は富永秀明先生で、上位2名を茨城県が独占してしまい、気まぜい雰囲気も漂う中、第3位は埼玉県の中村秀春先生でした。

お天気とコースの良さに恵まれ、参加された先生方はご満足いただけた様子で帰路につかれました。

この記事を読んでくださったゴルフを始めたばかりの先生や、これから趣味でゴルフをやってみようと思われた先生がおられましたら、各支部にゴルフ委員がおりますので声がけください。是非とも同好会への参加をお待ちしております。



穏やかなゴルフ日和のコース

第45回関東学術大会 栃木大会発表に際して

水戸支部 岩本 勝久

令和7年3月9日(日) 栃木県総合文化センターにて開催の「公益社団法人日本柔道整復師会 第45回関東学術大会栃木大会」において、論文を発表させていただきました。

論文内容は、平成21年から箱守会長を中心とする県西支部の有志メンバーが、小学生と中学生の野球チームを対象に実施している投球障害調査を、水戸支部でも平成24年から県西支部の方法や手法を学び実施しておりますので、この調査内容といたしました。

これまでも、投球障害調査に関しては、平成24年に箱守会長、平成31年に柴崙将志先生が関東学術大会で発表を行っており、迷うところではありましたが、両先生のアドバイスもあり上腕骨離断性骨軟骨炎(OCD)に特化してまとめることにしました。

論文作成に際しては、学術部の新井部長と根本隆司副部長に多大なるご協力をいただき、何度も校正を重ね完成させることができました。

大会前日は、リハーサルを行い、その後日整の意見交換会、開会式、夕食会と続き、他県からの出席者や発表者と交流をはかり情報交換をさせていただき、大変有意義な時間を過ごすことができました。

宇都宮市内は、夕方からすでに雪がちらついており、翌朝の積雪が予想され、大会当日に各県の参加者が無事に到着するか心配しましたが、夜半には雪も止んだようで、積雪もなく晴天に恵まれました。

私は、早朝より宇都宮市内をランニングして気持ちを落ち着かせて準備をしておりましたが、発表時は多くの茨城県柔道整復師会の先生方に応援いただき、予定した研究発表に臨むことができました。

最後になりますが、この貴重な機会を与えてくださった箱守会長をはじめ、新井学術部長、根本学術副部長、そして日頃より現場にて投球障害調査にご協力をいただいております水戸支部有志の先生方に深く感謝を申し上げます。



学会で発表した岩本勝久会員(中央)と箱守会長(左)、新井学術部長(右)

水戸支部 保険研修会を開催



水戸支部 高田 敬

令和6年10月12日(土)午後5時から、本会会館において、「レセプトコンピュータ及び保険請求業務」関連の水戸支部保険研修会を開催しました。

当日は、本会の佐間田仁保険副部長から、10月1日施行の明細書交付義務化、長期・頻回受療の料金の適正化に係る通減率の変更と新設、また、今回の改正によるレセプト様式の変更などを、レセプトコンピュータの画面をスクリーンに投影し、日頃の保険請求業務で必要な点、間違いやすい点などを実際に操作をしながらわかりやすい説明がありました。

会場からの質問も多く、有意義な保険研修会となりました。

県北支部 保険学術講習会を開催



県北支部 大賀 隆雄

令和6年12月7日(土)日立市の「ホリゾンかみね」において、県北支部保険学術講習会を開催しました。

講習会に先立ち、協同組合賛助会員の株式会社ウェミナス様より、骨盤底筋トレーニングチェアや、オリンピック選手も使用しているデンバマット等、最新の機器を紹介していただきました。

保険講習会の講師には、本会の後藤健雄保険部長を迎え、本年10月からの明細書発行、長期施術通減、受領委任取り扱いの改正点について、また、事前審査会での内容を中心に、施術療養費の現状や適切な保険

請求について、具体的かつ詳しく説明していただきました。

最後に富永秀明支部長より、レセコンを用いた具体的な明細書発行方法を、実際のモニター画面をもとに詳しく説明していただきました。

普段直接聞けない保険部長のお話を聞けて、日々の業務にさっそく活かせる有意義な講習会となりました。

茨城県高校野球連盟主催 少年野球トレーニングと 野球肘検診に参加



水戸支部 藤田 博美

令和6年12月22日(日)ノーブルホームスタジアム水戸において、茨城県高校野球連盟主催の少年野球トレーニングと野球肘検診が開催されました。

当日は、日本赤十字社水戸赤十字病院 整形外科医の上牧裕先生より依頼をいただき、本会から箱守会長、水戸支部の岩本勝久会員と中川翔太準会員、私 藤田の4名で参加させていただきました。

今回の参加にあたり、箱守会長は「本会においては、これまでに約4000名の少年達の野球肘調査を実施してきた。また水戸赤十字病院整形外科医の上牧裕先生と勉強会をさせていただいております。」と、あいさつされました。

その後の検診では、筑波大学医学部出身の照屋翔太郎先生を筆頭に、整形外科医5名、理学療法士7名の方々が、検診を希望した少年約50名に検診を行い、私たちは、医師の助手をしながら勉強させていただきました。

検診の結果については、再検査が必要となった少年が2名確認されました。

最後に、今回参加させていただいたことで、とてもいい経験になったこと、更に今後の検診技術の向上に資することを自覚して解散しました。

県西支部セミナーを開催



令和7年1月19日(日)午後1時より、常総石下総合福祉センターにおいて、本会の箱守志農夫会長をお招きし、県西支部セミナーを開催しました。

当日は、当支部山口光夫支部長のあいさつから始まり、城内成一会員による「知っておきたい機能解剖」と題した講義がありました。

講義は、すぐにでも実践できるよう、実技を交えながらとても分かりやすく説明していただき、参加した先生方は、早速明日からの施術のスキルアップにつながるよう真剣に耳を傾けていました。

次に、保険講習としまして、本会の後藤健雄保険部長から、保険の現況や保険請求の注意点、改善策等の詳細な説明があり、今後の保険取り扱い業務に生かせる勉強ができました。

最後に、当支部の鈴木正嘉副支部長の閉会のあいさつで終了となりました。(広報委員 朝倉 博幸)

水戸支部 腰の診察法に関する技術向上セミナーを開催



令和7年2月22日(土) 本会会館において、水戸赤十字病院の上牧裕先生を講師に迎え、「腰の診察法」に関する技術向上セミナーが開催されました。

本セミナーは、水戸支部会員の技術向上を目的とし、問診、視診、身体所見、神経学所見を中心に、臨床に即した実践的な診察法が紹介されました。

上牧先生は、豊富な臨床経験をもとに、正確な診断の重要性や、見落としがちなポイントについて具体例を交えながら解説していただきました。

参加者は、熱心に耳を傾け、実際の診察の流れを確認しながら学びを深めました。

受講者からは、「明日からの臨床にすぐに活かせる内容だった」「神経学所見の評価方法がわかりやすかった」などの声が寄せられ、非常に有意義な時間となりました。

今後も支部では、会員の技術向上を目的とした研修会を企画してまいります。引き続き、多くの皆様のご参加をお待ちしております。(広報委員 長谷川 秀樹)



会員になって想う!

県南支部 鈴木 崇也



平成30年4月に接骨院を開業した際、入会させていただいたので、はや7年の月日が経ちました。

地元石岡にて開業しましたが、初めの頃はやる気と不安でドタバタなスタートだったのを今でも鮮明に覚えています。

そんな不安の中、茨城県柔道整復師会に入会したことで多くの先生方と繋がりが持て、沢山の学びを得ることができました。

先生方や整復師会は、わからないこと、不安なこと、講習会や必要な情報などの知らなくてはいけないこともキチンと教えてくれます。

入らなければ知らなかった知識がとても多いことに、後になって驚きました。

茨城県柔道整復師会は、とても温かいです。

新しく開業する先生にとって、良い指針となり、既存の先生方にとってはサポートが厚いので、私はこの会に入って良かったと感じています。

最後になりますが、茨城県柔道整復師会の会員として、また一柔道整復師として、患者さんにこれからも安心を届けられることができれば良いと思います。

本会の Facebook 開設について

タイムリーな情報を掲載予定ですので、是非ご覧ください。

URL は下記のとおりです。

<https://www.facebook.com/kousyaibasei>

QRコードからもアクセスできます。



救護員派遣の近況

令和6年9月7日(土)

第37回関東甲信越ラグビーフットボール不惑大会

ケーブデンキスタジアム水戸

藤田博美 (水戸支部)

腰部を負傷した1名の選手にアイシングの処置をしました。

令和6年9月8日(日)

第37回関東甲信越ラグビーフットボール不惑大会

ケーブデンキスタジアム水戸

藤田博美、中川翔太 (水戸支部)、西澤直之 (県北支部)

大腿部、肩関節、指等を負傷した15名の選手にアイシング等の処置をしました。

また、肘関節を脱臼した選手については、三角巾で固定し救急車で病院に搬送しました。

令和6年9月21日(土)

令和6年茨城県柔道「形」競技大会

東日本技術研究所武道館

綿引 徹 (水戸支部)

負傷者なし。

令和6年9月29日(日)

茨城県柔道連盟県北支部 第1回小学生学年別柔道大会・柔道段別大会

日立市武道館

羽石勝 (県北支部)、佐間田仁 (水戸支部)

負傷者なし。

令和6年10月19日(土)

令和6年度 茨城県スポーツ少年団 柔道競技大会

東日本技術研究所武道館

佐間田仁 (水戸支部)、上野良知 (県西支部)

足関節捻挫、膝関節捻挫等を負傷した4名の選手にテーピングの処置をしました。

また、鎖骨折疑いの選手については、三角巾等で固定し救急車で病院に搬送しました。

令和6年10月27日(日)

第9回水戸黄門漫遊マラソン

イオンモール水戸内原I駐車場 (19.4Km地点)

莊司 智也 (水戸支部)

柴寄 将志、藤田 智之、富田 匠、塚本 孝一 (県西支部)

水戸市土木補修事務所 (29.3Km地点)

藤田 博美、中川 文夫、杉本 秋生、櫻井 雅明、高田 敬 (水戸支部)

偕楽園別邸付近 (33.2Km地点)

新井 俊行、宮部 和浩、木村 栄作、後藤 洋彰、長谷川 秀樹 (水戸支部)

ゴール (42.195Km)

岩本 勝久、早川 好機、中川 翔太 (水戸支部)

足関節捻挫、膝関節捻挫、下腿部挫傷等の535名のランナーにテーピング、アイシング、ストレッチ等の処置をしました。

令和6年11月17日(日)

第34回茨城県四地区対抗柔道大会

東日本技術研究所武道館 柔道場

杉本秋生、助川 悟志 (水戸支部)

右手を負傷した1名の選手にテーピングの処置をしました。

令和6年11月24日(日)

第44回つくばマラソン

第6救護所

鮎川秋雄、永田喜久雄、齋藤正仁、内館秋男、桜井亮、倉持孝浩、

湯田隆幸 (県南支部)

大腿部、下腿部、足関節等を負傷した25名の選手にアイシング、テーピング、ストレッチ等の処置をしました。

令和6年11月30日(土)

令和6年度 茨城県武道フェスティバル柔道大会

東日本技術研究所武道館

綿引 徹 (水戸支部)

頸部捻挫、足関節捻挫等の4名の選手に湿布、包帯等の処置をしました。

令和7年1月25日(土)

令和7年茨城県柔道選手権大会兼関東柔道選手権県予選

令和7年茨城県女子柔道選手権大会兼関東女子柔道選手権県予選

筑波大学武道館 柔道場

相沢寿、青木竜也 (県西支部)

足部、指等を負傷した6名の選手にテーピング等の処置をしました。

令和7年1月26日(日)

第72回勝田全国マラソン

海原医院 (23.5Km地点)

藤田博美、藁谷和彦、嶋崎英恭、中川文夫、中川翔太 (水戸支部)

西原運動公園 (31Km地点)

新井俊行、岩本勝久、早川好機、長谷川秀樹、野澤行宏(水戸支部)

大腿部、下腿部、膝関節、足関節等を負傷した397名のランナーにテーピング、アイシング、ストレッチ等の処置をしました。

令和7年2月1日(土)

令和7年茨城県柔道段別選手権大会

令和7年茨城県柔道高段者大会

令和7年茨城県女子柔道紅白試合

東日本技術研究所武道館 柔道場

綿引徹、佐間田仁 (水戸支部)

負傷者なし。

■新入会員■



県南支部 香取 慎治

神立宏友会シン接骨院

土浦市神立中央1-9-43本会 2号室

☎ 029-896-8825



水戸支部 宮尾 洋充

いたこ整骨院

潮来市あやめ2-33-9

☎0299-63-1386



県南支部 高谷 信之

みなみつくば整骨院・鍼灸院

つくば市田野井字榎下169-1

☎ 029-886-7497

《訃報》

- ・柴寄 将一郎 (しばさきしょういちろう) 県西支部 柴寄 将志 本会理事の父 令和6年8月20日死去 88歳
- ・水野 光子 (みずの みつこ) 県西支部 水野 猛 会員の母 令和6年12月26日死去 84歳
- ・稲田 真一 (いなだしんいち) 県北支部会員 令和6年10月18日死去 75歳
- ・野口 武夫 (のぐち たけお) 県西支部 野口 靖之 会員の父 令和6年12月31日死去 80歳
- ・杉本 あい (すぎもと あい) 水戸支部 杉本 秋生 会員の母 令和6年12月20日死去 101歳

編集後記

コロナ禍も落ち着き、今年度もいろいろな行事が開催されました。行事等を通じて、人との触れ合う機会も増え、本来のコミュニティが戻り、公私ともに元気でいられることに感謝の毎日です。

これからも、我々の仕事に誇りを持ち、患者様とのつながりを大切に、地域に貢献できたらと願う今日この頃です。

(広報委員 朝倉 博幸)

今日と未来を、つなぐ。

変化が激しく、新しい価値観が生まれる時代。
今日という、一日一日を大切に。
その積み重ねが、未来へとつながっていく。
日本生命は今を生きるすべての人たちの
トータルパートナーとして
これからも社会に向き合い続け、ともに歩んでいきます。

2021-1496G,総合企画部



お客さまアドバイザーは
フコク生命オリジナル 区当地キティとともに
夢と安心をあなたにお届けしていきます。



水戸支社オリジナル
ご当地キティ

HelloKitty
© 2024 SANRIO CO., LTD. APPROVAL NO. L646162
「ハローキティ」は、フコク生命のイメージキャラクターです。

富国生命保険相互会社 水戸支社
〒310-0026 水戸市泉町 1-1-4 水戸フコク生命ビル 5F ☎029-221-2384

人と人の間に
フコク生命
THE MUTUAL

◎広-020-0044 (2024.6.28)

外国人患者の来院対応には **この1冊!**
指差しするだけで簡単コミュニケーション



柔道整復師のための
外国人対応ハンドブック
Judothapist-Patient Handbook 【英語版】

本書は、WEBからご注文いただけます。
www.j-hsk.co.jp/judothapist/handbook.html

柔道整復師のための外国人対応ハンドブック 🔍 検索

運営会社：株式会社 HSK 東京都千代田区神田三崎町 2-7-10 帝都三崎町ビル 8F

RECOVERY BODY SYSTEM
Magnet Dance
自宅で手軽に
電磁治療器

EM PEL VI
30分着のびで
骨盤矯正セッション

Beam on one
クリニックでも多数
近赤外線 & 音響振動

Wemias - ウェミアス -
栃木県宇都宮市上戸祭町2989-105
TEL: 090-2431-7606
担当 池田

◆体験デモのご依頼お待ちしております◆

一生運のパートナー
第一生命
Dai-ichi Life Group

ぴったりがみつかる保険
ジャスト
健診割

共に歩み、未来をひらく
多様な幸せと希望に満ちた世界へ

第一生命保険株式会社
〒100-8411 東京都千代田区有楽町1-13-1
Tel 03-3216-1211 (代) 受付時間 平日午前9時～午後5時
第一生命ホームページ <https://www.dai-ichi-life.co.jp/>

保険のことならなんでもご相談ください

取扱保険会社 **40社以上**

朝日生命 Manulife ソニー生命
日本生命 MetLife メディケア生命
Rakuten 楽天損保 東京海上日動

あなたに
合ったプランを
提案します!

は〜とずっとほっと
ほけんの110番!!
ひたち野うしく店
☎029-878-2285
〒300-1207 茨城県牛久市ひたち野東4-26-1
JIMビルB号室

WEBからも予約できます! /

募集代理店(株)ほけんの110番 HH21-0020-0003広告有効期限2026年6月

セキスイハイムが家づくりを
サポートします。

茨城柔道整復師会会員の皆様に
お得な3つの特典!

特典1 **新築工事
請負契約**
建物本体価格の
3%割引

特典2 **リフォーム工事
請負契約**
50万円以上の
請負に限り、請負価格の
3%割引

特典3 **左記以外の
その他の契約**
その都度協議の上
特典を決定

お問合せ・資料請求・ご相談・展示場へのご来場予約は
0120-013-816 または **茨城セキスイハイム** 🔍 検索

茨城セキスイハイム株式会社
〒310-0852 水戸市笠原町 600-62

団体保険は接骨院経営者の基礎となる保険です！

柔道整復師 総合補償制度

総合保険コンサルタント・賛助会員

アームリンク株式会社

代表取締役 小林 和義

TEL 027-255-3233

URL <https://armlink.net/>



保険の見直しをしてみませんか？
あなたに『ベストな保険』の
お手伝いをいたします！



三井住友海上火災保険 ハイグレードエージェンツ
三井住友海上あいおい生命 エグゼクティブメンバーズ・クラブ ダイヤモンド
三井住友海上プライマリー生命

サンツクバ 株式会社

お問い合わせは

TEL.029-841-5858

サンツクバ

検索

詳しくはホームページを
ご覧ください。

土浦市中村南 1-2-23 URL <http://www.suntsukuba.com>



おかげさまで**52**周年

塚本工業株式会社

ギフトセンターツカモト

茨城県稲敷郡阿見町荒川本郷2880-2

TEL 029-834-2560 FAX 029-834-2563



伊勢屋グループ
水戸プラザホテル

Tel.029-305-8111(代表)
<http://www.mito-plaza.jp/>

「生きる」を創る。

Affac



【募集代理店】北関東ファミリー株式会社

<http://www.kfamily.net/>

フリーダイヤル:0120-48-3376 FAX:029-248-8522

〒310-0842 水戸市けやき台2-14-1

■ アフラックサービスショップ ■ -----

けやき台店 / フリーダイヤル:0120-48-3376

ロゼオ水戸県庁前店 / フリーダイヤル:0120-97-8659

ひとに健康を、まちに元気を。

明治安田

明治安田生命保険 水戸支社

接骨院・整骨院専用のレセコンなら

三四郎くん



株式会社 エス・エス・ビー

〒305-0853 茨城県つくば市榎戸748-2 沼尻産業ビル

TEL 029-839-0346 / FAX 029-838-0874

<https://www.sanshiro-net.co.jp/>

